

神代花だより

伊藤伊兵衛とカエデ

神代植物公園では都内より少し早めの11月上旬から12月中旬にかけて、木々が赤や黄色に色づき、園内は秋色に染まります。いよいよ紅葉ウィークのはじまりです。

紅葉といえば、カエデを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。今回は、江戸時代にカエデの魅力を広めた園芸家、伊藤伊兵衛政武をご紹介します。

江戸時代中期、カエデの人気を高めることに大きく貢献した人物が、植木屋の伊藤伊兵衛政武です。伊藤伊兵衛は、江戸で一番の植木屋とまで言われ、園芸の世界ではちょっとした名人でした。

「伊兵衛」というのは、代々世襲の名前です。日頃の地道な植物栽培や研究の積み重ねの末、数々の園芸書を執筆したことでも有名で近年のガーデニングブームの原点とも言える人物です。

政武は、京都や大阪など上方地方の名所からさまざまなカエデを集めました。また、自ら新しい品種の育成にも取り組みました。晩年に出版した品種解説書『歌仙百色紅葉集』では、なんと百種類ものカエデを紹介しています。

カエデを格式高い植物として紹介

政武の著書「古歌僊楓集」「新歌仙楓集」「追加楓集」では、カエデに品種名を付ける際に、平安時代の優れた歌人36人を選んだ「三十六歌仙」の和歌にちなんでいます。和歌の一節やその意味を品種名に取り入れることで、和歌や文化と結びついた価値ある園芸植物として人々に紹介しました。

別格の三品種

鎌倉時代に編纂された『新古今和歌集』に収められた、結句（五句目）

を「秋の夕暮れ」で統一した三首の優れた和歌、「三夕の歌（さんせきのうた）」があります。

寂蓮法師（じゃくれんほうし）

「さびしさはその色としもなかりけり

横立つ山の秋の夕暮れ」

西行法師（さいぎょうほうし）

「心なき身にもあはれは知られけり

しぎ立つ沢の秋の夕暮れ」

藤原定家（ふじわらのていか）

「見渡せば花も紅葉もなかりけり

浦の苦屋の秋の夕ぐれ」

政武は、『新古今和歌集』で名高いこの「三夕の歌」にちなむカエデを別格に扱いました。最晩年には植物図鑑『三夕楓之図』を刊行。「鳴立沢」「横立山」「浦苦屋」の三品種を発表しました。（このうち、現在も残っているのは「鳴立沢」のみとされています。）

こうした工夫は、教養を重んじる武士たちの心をつかみ、カエデは武家屋敷にも取り入れられるようになりました。こうして江戸で人気の園芸植物として広まっていったのです。

さらに政武は、質素倹約を徹底し、「享保の改革」により幕府の財政を立て直した八代將軍・徳川吉宗とも関わりがあり、清国から吉宗に贈られたトウカエデを託され、繁殖させて世に広めました。

トウカエデ

このように伊藤伊兵衛政武は、優れた園芸家であるだけでなく、カエデを和歌や文化と結びつけることでその魅力を高め、江戸時代の園芸文化の発展に貢献しました。そして、今日私たちが楽しんでいる「紅葉を愛でる文化」にもつながる、カエデの魅力を広めた人物の一人といえます。

神代植物公園で楽しむカエデ

神代植物公園の「かえで園」には、イロハモミジやオオモミジなど、約52種、

119本のカエデが植えられています。緑色から赤に変わる間のグラデーション、雨の日の翌日、降り積もった葉が赤い絨毯になる様子などは息をのむ美しさです。

この時期はカエデだけでなく、中池周辺のメタセコイアやラクウショウの紅葉も必見です。特に午後4時頃、ばら園からメタセコイア並木を望むと、黄金色に染まる姿をご覧ください。また、対面の、えびね・あじさい園の流れに沿いでは、メタセコイアの枝から差し込む西日がいくつもの光の線をつくりだす、幻想的な景観が広がります。

秋の光に包まれた神代植物公園。植物がつくる美しい景色をお楽しみください。

どこでどんな紅葉が見られるのか、広い園内で迷う事も予想されます。でも大丈夫！秋の紅葉めぐりスタンブラーを11月1日から12月20日まで開催します。

スポットをめぐる、当園おすすめの紅葉を余すことなくご覧いただけます。

参加無料

対象スポットは50カ所
1000ポイント集めて達成！

達成後にアンケートにお答えいただくと
毎月先着で神代植物公園より250名、深大寺より250名
合計500名様に特典がごさいます！

開始はこちら

神代植物公園・深大寺
おすすめ紅葉スポットをめぐる
デジタル版スタンプラリー

実施期間
(特典引換期間)

2026
11/1 日 ▶ 12/20 日

東京都調布市深大寺元町5-31-10
☎042-483-2300
開園時間
9時30分～17時（最終入園は16時）
休 園 日 毎週月曜日
（祝日の場合は翌日）、12月29日～1月1日

アクセス ●京王線から／「調布駅」から小田急バス「吉祥寺駅」または「三鷹駅」行き「神代植物公園前」下車。または京王バス「深大寺」行き「神代植物公園」下車、「つじヶ丘駅」から京王バス「深大寺」行き「神代植物公園」下車 ●JR中央線から／「三鷹駅」または「吉祥寺駅」から小田急バス「調布駅北口」または「深大寺」行き「神代植物公園前」下車 ●有料 ●来園前に公式ホームページ・公式X（旧Twitter）にて最新情報をご確認ください。@ParksJindai ※2025年9月19日の情報に基づき作成しています。

